

順位もアップ！ 2年連続で躍進賞受賞おめでとう

第52回郡市対抗県内一周駅伝

「チームの団結と応援してくださる方々、多くの絆を一本のたすきに込め走り抜きます」と、2月16日の開会式で多久市の鶴紘寿主将の宣誓で始まった県内一周駅伝。2月17日から19日までの3日間、13チームが33区間269.9kmに挑みました。

2日目前半（12～15区）は雪のため中止となりましたが、船津静哉監督率いる32人の多久市チームは、天候に負けない粘りの走りを見せ、前年より29分48秒の短縮。また、順位を2つ上げて11位となり、2年連続の躍進賞を受賞しました。

▶20区の出雲一真選手から
西山嘉昌選手へ。
出雲選手は区間2位でした



▲基山町役場前をスタートした
鶴紘寿選手



▲6区
北島慎也選手



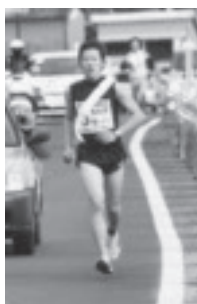
▲雪が降る中走る
11区 森下義仁選手



▲佐賀新聞社前のゴールに向かう藤井康輔選手



▲31区の土橋香廉選手から
土橋りか選手へ。
娘から母へのたすきリレー



▲10区
陣内裕規選手



▲28区
諸田雄一郎選手



▲応援を受け、27区多久町を
疾走する鳥谷浩一郎選手

◀22区
の宮本佳織選手

合格祈願の絵馬奉納

JR多久・小城・唐津の3駅に設置している巨大絵馬に投函された絵馬カードの奉納式が多久聖廟でありました。今回は市内の学校や飲食店に設置した絵馬カードもお預かりし、受験生が願いを込めたカード400枚を奉納。

奉納式には、佐賀市から受験生の家族も「娘の高校受験なので、志望校に受かるように」と参加しました。多久市観光協会や財団法人孔子の里が、願い事が成就するようにと願って合格祈願を行いました。



2/20

学校で新聞活用 佐賀新聞社と調印

市内小中学校で子どもたちの読む力・書く力・コミュニケーション力などの言語活動を高めることを目的に、新聞を活用した授業を展開。「NIE(新聞活用教育)実践校」の指定を受けています。今回、多久市教育委員会と佐賀新聞社は、「児童・生徒の言語活動の充実と新聞の活用に関する協定書」の調印を行いました。これにより、市内全学校へ記者を派遣する出前授業などを受けることができ、これまで以上に、新聞を有効活用した学習が推進されます。



2/15